

◆ 新収蔵資料紹介（令和6年度8月）展示解説シート ◆

久留米藩が誇る軍艦の姿を写す～せんざいまる軍艦千歳丸写真～

会期：令和6年8月2日(金)～9月2日(月)

久留米市立六ツ門図書館展示コーナー

令和5年度に本市が収集した「久留米藩軍艦せんざいまる千歳丸写真」を初公開します。

幕末久留米藩は、非常の備えとして軍備の充実をすすめる、洋式兵備や軍艦の購入など積極的に行いました。元治元年(1864)以降、蒸気船・帆船あわせて7隻の軍艦を保有しました。これは、幕府を除く諸藩の中では、薩摩藩・佐賀藩・土佐藩に次ぐ数でした。7隻のうちもっとも大型だったのが、慶應3年(1867)に長崎で購入したイギリス製の蒸気船千歳丸でした。

千歳丸の写真は、幕末久留米の近代化の動向を示す貴重な資料です。

千歳丸は、1867年イギリス製の蒸気船で、同年11月に久留米藩がアメリカ人商人から購入、筑後川の別名・千歳川ちとせがわにちなんで名付けられました。2本のマストと1本の煙突をもち、長さ172フィート、幅25フィート、6門の砲台を有していました。

明治元年(1868)には戊辰戦争ぼしんに参加し、同年3月には、大阪天保山沖での本邦初の観艦式かんかんしきに参加するなど、名実ともに久留米藩を代表する船でした。軍艦としての役目を終えると、沿岸貿易船として商人を乗せ、各港を廻航かいこうしていました。明治4年(1871)11月、船名を青龍丸せいりゅうまると改名し商人に賃貸されました。

その後、所有者は転々としながら、定期航路の就航などの海上輸送業に従事していましたが、大正2年(1913)、新潟県の柏崎港かしわざきこう付近で座礁ざしょう、沈没しました。

●久留米藩軍艦千歳丸写真



●久留米藩海軍船艦表

(『明治2年殉難十志士余録』を参考に作成)

艦名	製造所	製造年	船の規模	代金	購入年月
千歳	イギリス	1867	長さ172 呎、幅 25 呎、深さ14 呎 600トン、90 馬力。砲数6門	85,000 ドル	慶応3年11月
雄飛	イギリス	1861	長さ 25 間、幅 3 間半、深さ 2 間 250トン、60 馬力。砲数 2 門	75,000 ドル	元治元年正月
晨風	アメリカ	1864	長さ 25 間、幅 3 間半、深さ 2 間 250トン、60 馬力。砲数 2 門 32 斤 18 斤	53,000 ドル	慶応2年9月
翔風	シンガポール	1863	長さ88 呎、幅26 呎、深さ9 呎 200トン、馬力記載なし。砲数 2 門	8,000 ドル	慶応2年9月
遼鶴	イギリス	不詳	長さ83 呎、幅22 呎、深さ9 呎 190トン、馬力記載なし。砲数 2 門	7,000 ドル	慶応2年9月
玄鳥	アメリカ	1863	長さ82 呎、幅 18 呎、深さ9 呎 107トン、馬力記載なし。砲数 2 門	4,700 ドル	慶応2年9月
神雀	イギリス	不詳	長さ、幅、深さ記載なし トン数記載なし、8馬力。砲数記載なし	6,000 ドル	慶応2年

●「筑後」

昭和17年(1942)9月、筑後郷土研究会により発行されました。浅野陽吉により、最後の千歳丸艦長・前野雅門の来歴等について記されています。浅野は、「久留米藩の海軍史を記するにあたり、前野雅門は、逸する事の出来ない一人である。」としています。

前野雅門は、久留米藩士前野静馬の二男として京隈小路(現・京町)に出生。元治元年(1864)11月、御馬廻組に召し出され、10人扶持を給されました。同時に軍艦雄飛丸士官勸定頭を兼ねています。同年雄飛丸士官として洋学・航海術修行のため長崎留学を命じられました。その後、明治3年(1870)に久留米藩最大の軍艦千歳丸の船長となりました。明治6年(1873)6月12日没。享年55。

(1)

筑 後

前野 雅 門

浅野 陽 吉

昭和十七年 九月



前野 雅 門

久留米藩の海軍史を記するにあたり、前野雅門は、逸する事の出来ない一人である。浅野は、「久留米藩の海軍史を記するにあたり、前野雅門は、逸する事の出来ない一人である。」としています。

前野雅門は、久留米藩士前野静馬の二男として京隈小路(現・京町)に出生。元治元年(1864)11月、御馬廻組に召し出され、10人扶持を給されました。同時に軍艦雄飛丸士官勸定頭を兼ねています。同年雄飛丸士官として洋学・航海術修行のため長崎留学を命じられました。その後、明治3年(1870)に久留米藩最大の軍艦千歳丸の船長となりました。明治6年(1873)6月12日没。享年55。

筑後郷土研究会 発行